

# おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2019. 8. 20 No.13

## 夏の活動・見てある記 ～学校・地域の協働で人づくり～

### 一中で「あいさつ運動」(7/10)

夏の交通安全運動の一環として、生徒会と先生、少年育成委員、境港警察署が連携して正門で朝の声掛けを行いました。あいさつはマナーであるだけでなく、人と人をつなぐ手段です。CSで大切にしていきたいことの一つです。



### 一中生のみなと祭ボランティア(7/21)

男女10名ほどがメイン広場横のスタッフとして参加、蒸し暑さを吹き飛ばす活躍でした。

前週の皆生トライアスロンにも多くがボランティアとして参加。主体的に行動し、それが認められ、達成感を味わうことで、生徒たちは成長していきます。



### 境公民館「お話しポケットの会」(7/25)

境小児童クラブ42名が読み聞かせや語りを聞きました。話が進むうちに児童は少しずつ物語の世界に引き込まれていくようでした。

調査によると、一中生の36%が「読み聞かせをしてほしい」、18%が「自分で読み聞かせをしたい」と考えています。経験が豊かな心を育てます。



### 上道小「夏休み学習会」(8/1)

昨秋から、家庭学習の習慣化をめざして放課後の自主学習をボランティアが見守る活動が行われており、夏休みにも行われました。スタッフ約30名が都合の良い日に交代で当たっており、この日は10名の児童を3人が見守りました。「慣れてきて、静かに取り組むようになってきた」とのことです。



### 上道公民館「みんなで楽しく遊ぼう」(7/29)

上道小1～5年生25名がダンボールなどを使って「上道のまちづくり」をしました。進んで関わりながら主体的に活動し、豊かな発想や粘り強さを発揮しました。この経験を土台に、実際のまちづくりを進めてくれるでしょう。



### 上道公民館「バスで校外学習」(8/2)

児童15名が「お仕事探検ツアー」で米子市の「とっとり自然環境館」へ。立入禁止の太陽光発電施設で点検の様子を見るなど、普段できない体験ができました。「質問が多くてうれしかった」と係の方。CSでは、体験活動を大切にしたいと考えています。



話し合ってメニューづくり

### 「朝ごはんは大切！」 一中校区拡大学校保健委員会(7/25)

栄養のバランスのとれた朝食が学力・体力・気力の土台になっていることをデータから学び、小集団で「理想の朝食メニュー」を考えました。

学校ごとでなく合同で開催するようになったのは8年前からとのこと。現在CSの活動ではないものの、めざす方向は同じ。他地域では、実際に「すこやか」「いきいき」等の言葉でCSに位置付けている所もあります。